

# E型肝炎に関するお願い

ブタ、イノシシ、シカの肉や内臓（レバーなど）を生又は生焼け※で**6カ月以内**に食べた場合は、献血はご遠慮ください。

※生焼け：中心部に赤みが残っている状態

（参考<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000049964.html>）



## ◆E型肝炎について

E型肝炎は、ウイルスに汚染された水や食べ物から感染するウイルス性肝炎です。感染源となる食べ物は、日本では加熱不十分なブタ、イノシシ、シカの肉や内臓（レバ刺しやレアの焼肉等）が主になります。感染して発症すると、発熱、全身倦怠感、悪寒、嘔吐、食欲不振、腹痛等の消化器症状を伴いますが、症状がないこともあります。

感染した人が気付かずに献血した血液が輸血に使用された場合、患者さんがウイルスに感染し、重篤な症状を引き起こす場合があります。

## ◆日本赤十字社では輸血用血液の安全性の向上のためE型肝炎検査（HEV NAT 検査）を導入しました。

E型肝炎（HEV）の検査が陽性となった場合は、献血後にお知らせします。陽性となった献血日から6カ月間は献血をご遠慮いただきますが、その後はまた献血にご協力いただけます。

注意：献血Web会員サービス ラブラッドでの献血予約は、6カ月後の翌日より可能となります。

E型肝炎に関する詳しい情報は下記アドレスをご確認ください。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/08/h0819-2a.html>



患者さんに安全な輸血用血液製剤をお届けするため、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。